

②8 困っている 子どもにどう対応？

No.28-1

保護者が最初の相談相手になろう

●子どもとの接し方 五訓

- ①最後まで味方であることを伝える
- ②先の見通しを親子で共有する
…「力がつけば次の段階へ進める」
希望が必要
- ③常に「最初の段階」に注力する
…緩く始めて、後で厳しくするのは難しい
※どの機器もアプリも初期設定・
登録が運命の分かれ道
★プライバシー情報をどこまで登録・
公開すべきか
★「友達」の見つけ方、増やし方と
一対一での接触
★投稿の基本的な公開範囲と制限の方法
- ④大人も「本気」を示す
…子どもに禁止や注意するだけでなく、
自ら変わる、挑戦する
- ⑤「変なもの」を回避するより「使っている時間」に焦点

No.28-2

身近にいる「少しネットに詳しい」知り合いや学校の先生ともつながって、 チームで解決する

●「少しネットに詳しい」大人を増やす

秋田県では、保護者や教員等を対象に「地域サポーター養成講座」を開催しています。これは、地域や社会とのつながりの中で、保護者が子どもと向き合えるよう、中学校区程度の「顔の見える」範囲内で、子どもたちのインターネット利用の問題に「少し詳しい大人」を増やす取組です。受講者には、家庭や地域の中で課題解決に向けて実践する「地域の核」となっていていただくことを期待しています。（公的相談窓口については p.39 をご覧ください。）

うまホと学ぼう! ネット利用 ②8



困っている子どもにどう対応？

うまホ 僕のお母さんはあまりネットが得意じゃないんだ。ネットのことですべて子どもに注意するのは、少し気が引けるみたい。

県教育庁生涯学習課 そつだね。その気持ちは分かる。でも、得意じゃない人でもできることはあるよ。

と想つと相談しづらい。自分で何とかしようって考えちゃうかも。

生涯学習課 そつだね。子どもが何に困っているのか、どうしてそうなったのか、状況を正しく把握することが必要だね。

「大人の強み」も生かそう。

まずは「聞き上手」に

まず、子どもが困ったりトラブルに巻き込まれたりしたときは、保護者が最初の相談相手になろう。大切なのは「聞き上手」になることだよ。怒ったり、問い詰めたり、機器を取り上げたりせずに、受け止めてほしいんだ。

うまホ うんうん。怒られる、それは、経験とネットワーク。身近にいる「少しネットに詳しい」知り合いや学校の先生ともつながって、チームで解決することを心掛けて。保護者はもちろん、たぐさんの大人が力になれるってところを示すことができたら、子どもも安心するよね。

機器を
取り上げたりせず、
受け止めて

